

## 経営戦略に基づく令和4年度取組みと目標の達成状況

### ■経営戦略の進捗管理

経営戦略に掲げる経営理念に基づき、施策等を着実に推進するため、目標の達成状況、取組みの実施状況について、PDCA サイクルによる評価を行います。

また、計画と実状との乖離が著しい場合は、原因を調査するとともにその対策について機会を捉えて実施します。更に、計画期間中に発生する新たな課題や経済状況・社会環境の変化、あるいは経営状況の変化などにより、目標の達成が困難になることも考えられることから、前期3年、中期3年、後期4年毎に本経営戦略の事後検証・改定等を行います。

### 評価基準

経営戦略の進捗状況について、下記の基準に基づき評価いたします。

令和3年度の3段階評価から、5段階評価に変更しています。

総合評価	A：進捗管理シートにて平均 100点 B：進捗管理シートにて平均 75点以上 C：進捗管理シートにて平均 50点以上 D：進捗管理シートにて平均 25点以上 E：進捗管理シートにて平均 25点未満
個別評価 (進捗管理シート)	a：100点（実施率100%） 目標達成に向けた取組みにおいて全て実施できた さらに、取組指標も目標をクリアした b：75点（実施率75～99%） 目標達成に向けた取組みにおいて全て実施できたが 取組指標がクリアできなかった または、目標達成に向けた取組みにおいて概ね実施できた c：50点（実施率50～74%） 目標達成に向けた取組みにおいてある程度実施できた d：25点（実施率25～49%） 目標達成に向けた取組みにおいてあまり実施できなかった e：0点（実施率25%未満） 目標達成に向けた取組みにおいてほとんど実施できなかった

令和4年度の取組評価（水道事業） 全19項目

目標	施策	取組	総合評価
安全	① 水源環境の保全	1 水源涵養、水源の保全及び啓発	B
	② 水安全計画による安全な水運用	1 水質管理と水運用の充実	A
	③ 給水装置の安全性強化	1 鉛製給水管の更新	B
		2 貯水槽水道者への指導と情報提供	B
		3 給水装置工事の適正な施行の確保	B
④ 水道利用の促進	1 田主丸地区への水道の普及	B	
強靱	① 老朽化対策の推進	1 構造物・設備の計画的な更新	A
	② 防災・減災対策の推進	1 浄水施設等の耐震化・更新	A
		2 災害に強い管路への更新	B
	③ 危機管理の強化・充実	1 管路のループ化の検討	B
		2 危機管理体制の強化	B
持続	① 水道事業の基盤強化及び広域化	1 経営効率化の推進	B
		2 漏水防止対策の推進	A
		3 水道広域化の検討	A
	② アセットマネジメントによる適正な資産管理	1 アセットマネジメントを踏まえた投資・財政計画の策定	B
	③ 環境負荷の低減	1 省エネ機器の導入と水道資源の有効活用	A
	④ 水道事業の「見える化」の推進	1 久留米の水のイメージアップ	B
		2 分かりやすい広報の実施	A
⑤ 組織力の向上	1 研修の充実と人材育成	A	

令和4年度の取組評価（下水道事業） 全21項目

目標	施策	取組	総合評価
安全	① 計画的な下水道の普及	1 未普及地域への整備	B
	② 効果的な浸水対策の推進	1 雨水事業の計画的実施	B
	③ 老朽化対策の推進	1 下水道施設の計画的な更新・長寿命化	A
	④ 防災・減災対策の推進	1 浄化センター等の耐震化	A
		2 管路の耐震化	A
		3 浄化センター等の耐水化	A
⑤ 危機管理の強化・充実	1 危機管理体制の強化	A	
環境	① 水洗化の促進	1 未接続者への接続促進	B
	② 安定的な下水処理の維持	1 下水汚泥の安定的な処理	B
		2 下水処理の水質管理の徹底	A
	③ 環境負荷の低減	1 下水道資源の有効利用	B
		2 省エネ機器の導入	A
	持続	① 汚水処理手法の最適化の検討	1 生活排水処理基本構想の見直し
② 下水道事業の基盤強化及び 広域化・共同化		1 経営効率化の推進	B
		2 地方公営企業法非適用事業の法適用	—
		3 不明水対策の推進	B
		4 広域化・共同化の検討	A
③ スtockマネジメントを踏まえた 適正な資産管理		1 スtockマネジメントを踏まえた投資・財政計画の策定	B
④ 下水道事業の「見える化」の推進		1 下水道のイメージアップ	B
		2 分かりやすい広報の実施	A
⑤ 組織力の向上	1 研修の充実と人材育成	B	

取組指標【上下水道事業経営戦略(水道編)】

評価 達成○ 未達成× 未評価-

事業施策		前期			中期			後期				R4 評価			
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12				
安全	① 水源環境の保全	水道水の満足度が「満足」 「どちらかといえば満足」 の割合(%)		79.0		81.0		83.0				-			
	1 水源涵養、水源の保全及び啓発	実績		-		-						-			
	② 水安全計画による安全な水運用	残留塩素(mg/L)(平均) 【おいしい水の要件 0.1~0.4】 令和2年度末 0.4		0.1~0.4			0.1~0.4			0.1~0.4			○		
		実績		0.1~0.4		0.1~0.4							○		
		有機物(mg/L) 【おいしい水の要件 1.0 以下】 令和2年度末 0.5		1.0 以下			1.0 以下			1.0 以下			○		
	1 水質管理と水運用の充実	実績		1.0 以下		1.0 以下							○		
		濁度(度) 令和元年度末 0.1 以下		0.1 以下			0.1 以下			0.1 以下			○		
		実績		0.1 以下		0.1 以下							○		
	③ 給水装置の安全性強化	鉛製給水管の更新率(%) 令和2年度末 62.5%		66.6	70.5	74.4	78.3	82.2	86.1	90.0	93.5	96.8	100.0	×	
		1 鉛製給水管の更新		実績		66.1	69.1							×	
	③ 給水装置の安全性強化	調査票回答率(%) 令和2年度末 35.8%		60.0		80.0		100.0				-			
		実績		47.2	60.9								-		
2 貯水槽水道者への指導と情報提供		貯水槽点検率(%) 令和2年度末 29.5%		60.0		80.0		100.0				-			
実績		40.2	54.0									-			
③ 給水装置の安全性強化	福岡県南地域における 水道技術協議会受講率(%) (3年毎に開催) 令和2年度末 1%		-	80.0	-	-	90.0	-	-	100.0	-	-	○		
	3 給水装置工事の品質向上		実績		-	84.3							○		
④ 水道利用の促進	田主丸地区水道整備率(%) 令和2年度末 42.4%		47.5	47.5	47.7	47.9	49.1	49.3	50.6	50.8	52.8	53.0	○		
	1 田主丸地区への水道の普及		実績		47.7	47.7							×		
	田主丸地区水道使用率(%) (使用戸数/整備区域内戸数) 令和2年度末 29.6%		28.5	29.0	29.5	30.0	30.5	31.0	31.5	32.0	32.5	33.0	×		
実績		27.6	27.7									×			
強靱	基幹管路耐震適合率(%) 令和2年度末 52.3%		50.8	50.8	50.8	50.8	50.8	50.8	52.5	52.5	52.5	52.5	○		
	2 防災・減災対策の推進		実績		52.3	52.3							×		
	2 災害に強い管路への更新		ビニル製配水管更新率(%) 令和2年度末 18.0%		20.8	23.8	26.8	29.8	32.8	35.8	38.8	41.8	44.8	47.8	×
	実績 (上水道整備課)		19.3	20.2									×		
③ 危機管理の強化・充実		配水本管ループ化 整備進捗率(%) 令和2年度末 24.5%		29.5	33.2	33.2	38.2	43.3	48.3	53.4	57.9	57.9	57.9	×	
1 管路のループ化の検討 取組指標		実績		26.7	26.7								×		
持続	① 水道事業の基盤強化及び広域化		納期内収納率(%) 令和元年度98.7%		98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.7	98.7	98.7	98.7	○	
	1 経営効率化の推進		実績		99.1	99.2								○	
	口産振替率(%) 令和元年度77.6%		77.3	77.6	77.9	78.2	78.5	78.8	79.1	79.4	79.7	80.0	○		
	実績		80.5	80.2									-		
	有収率(%) 令和2年度 89.1%		89.2		89.5		90.0				-				
	実績		89.1	89.9									-		
	② アセットマネジメントによる適正な資産管理		料金回収率(%) 令和2年度末 116.2%		105.8	106.2	103.2	103.9	100.6	100.5	99.7	98.6	97.5	96.1	○
	1 アセットマネジメントを踏まえた投資・財政計画の策定		実績		112.1	107.7								○	
	④ 水道事業の「見える化」の推進		企業債務高対 給水収益比率(%) 令和2年度末 202.3%		256.7	274.8	288.0	299.0	308.1	316.1	326.6	335.8	344.1	353.5	○
	1 久留米の水のイメージアップ		施設見学者数(人) 令和元年度 約1,800人		1,825	1,850	1,875	1,900	1,925	1,950	1,975	2,000	2,025	2,050	○
実績		0	2,212										○		
④ 水道事業の「見える化」の推進		水道水の満足度が「満足」 「どちらかといえば満足」 の割合(%)		79.0		81.0		83.0				-			
2 分かりやすい広報の実施		実績		-	-								-		



【水道事業】

事業施策	指標	計画値	実績値	計画値に達しなかった理由
③ 給水装置の安全性強化 1 鉛製給水管の更新	鉛製給水管の更新率(%)	70.5%	69.1%	利用者との調整に時間を要し、計画の更新箇所数を達成できなかったため。
④ 水道利用の促進 1 田主丸地区への水道の普及	田主丸地区水道使用率(%) (使用戸数/整備区域内戸数)	29.0%	27.7%	給水使用申込みに伴う使用戸数が伸び悩んでいるため。
② 防災・減災対策の推進 2 災害に強い管路への更新	ビニル製配水管更新率(%)	23.8%	20.2%	資材価格・労務費の高騰等に伴い、更新延長が伸び悩んでいるため。
③ 危機管理の強化・充実 1 管路のループ化の検討	配水本管ループ化 整備進捗率(%)	33.2%	26.7%	国が行う工事の先送りに伴い、関連工事である配水本管ループ化工事も先送りとなったため。

令和4年度経営戦略取組指標目標未達成理由について

【下水道事業】

事業施策	指標	計画値	実績値	計画値に達しなかった理由
① 計画的な下水道の普及 1 未普及地域への整備	下水道処理人口普及率(%)	88.1%	87.6%	交付金の内示に合わせて規模を縮小して整備を行ったため。
② 効果的な浸水対策の推進 1 浸水対策事業の計画的実施	下弓削川流域 浸水対策事業進捗率 (%)	83.4%	48.2%	貯留施設工事において、掘削時に旧建物等が確認されたことによる撤去作業や地下水による法面崩壊への対策が必要になったため。
① 水洗化の促進 1 未接続者への接続促進	水洗化率(%)	89.3%	87.8%	整備地域が縁辺部へ移り、浄化槽設置済家屋、高齢化世帯などの理由から接続率が伸び悩んでいるため。
② 安定的な下水処理の維持 1 下水汚泥の安定的な処理	消化汚泥の消化率 南部浄化センター (%)	57.0%	54.0%	令和2～3年度の2カ年で消化槽の改築工事を行い、令和4年度に本格運用を開始したが、安定運用までに9か月ほど期間を要したため。
③ 環境負荷の低減 1 下水道資源の有効利用	消化ガスの有効利用率(%)	89.0%	86.8%	消化ガス発電設備の不具合による停止があったため。
③ スtockマネジメントを活用 1 Stockマネジメントを活用した投資・財政計画の策定 Stockマネジメントを活用した適正な資産管理	経費回収率(%)	100.0%	94.8%	収益の伸びに比べ、費用増加が大きかったため。ウクライナ情勢による動力費の高騰も一つの要因。
④ 下水道事業の「見える化」の推進 1 下水道のイメージアップ	施設見学者の数 (人)	1,640人	1,440人	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により見学希望者が減ったため。